

各位

2026 年 9 月 8 日
ウリドキ株式会社

栃木県小山市とリユース推進に関する協定を締結
—「捨てる」から「売る」へ。官民連携でリユースの選択肢を広げ、循環型社会の形成に貢献—

C2B 買取プラットフォーム「ウリドキ」(<https://uridoki.net/>) を運営するウリドキ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：木暮康雄、証券コード：418A）と栃木県小山市（市長：浅野正富）は、2026 年 9 月 7 日（月）、循環型社会の形成と市民生活の充実に寄与することを目的に、「循環型社会に向けたリユース推進に関する協定」を締結しました。



当社は、不要品を処分する前にリユースという選択肢を知っていただく機会を広げるため、自治体との連携を推進しています。今回の小山市との連携を通じて、地域住民の皆様がより身近にリユースを利用できる環境づくりを進めてまいります。

■ ウリドキと栃木県小山市の連携背景と目的

小山市では、循環型社会の形成に向け、リデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）の「3R」を推進し、ごみの減量化や資源の有効活用に取り組んでいます。

また、市民一人ひとりが日常生活の中で 3R を意識し、まだ使用できるものを繰り返し使用することや、必要とする人へつなげるなどを通じて、廃棄物の発生抑制と資源循環の促進を図っています。

当社は、C2B 買取プラットフォーム「ウリドキ」の運営を通じて、不要品の価値を可視化し、次に必要とする人へつなぐことで、循環型社会の形成に向けた取り組みを進めてまいりました。

リユースのさらなる普及に向けて、日頃からリユースサービスを利用している方だけでなく、これまで不要品を処分していた方々にも、リユースという選択肢を知っていただくことが重要であると考えています。

こうした考えのもと、地域住民との接点を有する自治体との連携を通じ、不要品を処分する前にその価値を確認できる機会を提供することで、より多くの方がリユースを選択しやすい環境づくりを進めています。

今回、小山市が推進する 3R の取り組みと、当社が提供する「ウリドキ」の仕組みを組み合わせることで、市民の皆様になたなリユースの選択肢を提供し、廃棄物の削減や資源の有効活用を通じて、循環型社会の形成に寄与することを目的として、本協定の締結に至りました。

■ 小山市ホームページを通じた「ウリドキ」の利用を開始

本連携により、小山市民の皆様は、小山市ホームページ

(<https://www.city.oyama.tochigi.jp/kurashi/gomi-seikatsu/gomi-recycle/page001066.html>)

を通じて、当社が提供する C2B 買取プラットフォーム「ウリドキ」を利用し、不要品の査定を申し込むことが可能となります。

「ウリドキ」上で不要品の情報を入力すると、提携する複数の査定士から査定価格が提示されます。利用者は査定結果を比較した上で、希望する査定士を選択し、買取を依頼することができます。



【ご利用の流れ】

1. 査定依頼

売却を希望する品物の情報および必要事項を入力し、一括査定を申し込みます。

2. 事前査定結果の確認

複数の査定士から事前査定結果が届きます。

3. 査定士の選択

提示された査定価格等を比較し、希望する査定士を選択して買取手続きを進めます。

市民の皆様が、不要になった品物を処分する前にリユースという選択肢を検討することで、廃棄物の削減や資源の有効活用につながることが期待されます。

当社は、小山市が推進する 3R およびリユースの取り組みに賛同し、市民の皆様が不要品をリユースへつなげやすい環境づくりに取り組んでまいります。

■ 自治体連携のさらなる拡大に向けて

当社は、これまでリユースサービスを利用する機会が少なかった方々にも、不要品を「捨てる」前にその価値を知る機会を提供することで、リユースをより身近な選択肢にしていきたいと考えています。

今後も自治体との連携を通じて地域住民との接点を広げ、それぞれの地域においてリユースを利用しやすい環境づくりを進めてまいります。

また、「ウリドキ」の利用機会を広げることで、不要品の廃棄削減や資源の有効活用を促進し、持続可能な循環型社会の形成に貢献してまいります。

■ 栃木県小山市について

小山市は栃木県南部、関東平野のほぼ中央に位置し、東京から北へ約 60 キロメートル、宇都宮市から南へ約 30 キロメートルの距離にあります。市街地周辺には農地や平地林が広がり、ラムサール条約湿地「渡良瀬遊水地」をはじめとする豊かな自然環境を有する一方、農業・商業・工業のバランスがとれたまちとして発展しています。

人口：166,119 人(2026 年 8 月 1 日時点)

世帯数：75,378 世帯(2026 年 8 月 1 日時点)

面積：171.75 平方キロメートル

ウェブサイト：<https://www.city.oyama.tochigi.jp/>

■ C2B 買取プラットフォーム『ウリドキ』について

『ウリドキ』はモノを売りたい人と買取店をつなぐマッチングプラットフォームです。

マッチングサービス『ウリドキ！』とリユースに関する記事を掲載する WEB メディア『ウリドキプラス』の 2 つのサービスを軸にプラットフォーム事業を展開しています。

『ウリドキ！』は商品の写真や状態を入力して査定依頼をすると、複数の査定士から見積もりが受け取れます。複数店舗に問い合わせることなく、一度の申し込みで買取価格の比較が可能です。

メッセージ機能で査定士と直接やりとりし、「高く売りたい」「早く売りたい」「口コミ評価の高い買取店に売りたい」など、目的に合った買取店へ売ることができます。

『ウリドキ』URL：<https://uridoki.net/>

買取店様向けお問い合わせ先：https://uridoki.net/shop_entries

■ 会社概要

会社名：ウリドキ株式会社

所在地：〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-6-3 新宿御苑フロント 9F

代表者：代表取締役 木暮康雄

設立：2014 年 12 月 1 日

事業内容：C2B 買取プラットフォーム『ウリドキ』の運営

URL：<https://uridoki.co.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ

ウリドキ株式会社 IR 担当

・メール：ir@uridoki.co.jp